

【選評】

〈調和体〉

総評

最優秀作品

►選々位

全体的には良く磨かれた線質が見られて、レベルの高さが感じられました。

◇饗庭 啓良

重厚な線に流れが加わり、大きく見える作となつた。

◇多賀 春陽

余白を生しながら重厚な線が良い。

►師範

自選の句を探し、自分の書き味に合う句を選文しましょう。

◇銭谷 心さ子

行間美しく線が伸びやか。

◇松崎 恵子

歯切れ良く余白も美しい。

►準師範以下

文字が全体的に大きい。余白を生かした作品を意識しましょう。

◇福谷 奎玉

伸びやかで、行間も美しい。

◇山本 登代

肉太く堂々と書き上げている。

〈日常書〉

総評

最優秀作品

よく書き込まれた作品が多く、審査が難しかったです。今後は名前の大ささと位置に注意して下さい。

◇清水 純風

紙面の中にバランス良く配置されている。文字の大きさも絶妙です。

〈審査員〉

西川桂邨 北川幾美 井戸菊江 澤井双竹 駒井高樹 饗庭啓良 鈴木天雷

〈お知らせ〉

- ・次月から臨書の部の審査については、天・地・人から天・地に格付けすることとします。調和体の部の選々位についても天と地に格付けします。
- ・9月号は「臨書、短歌・短文」の提出月で、締切りは9月26日です。
- ・10月号は「調和体、実用の書」の昇段・師範試験です。課題作品、受験料の締切りは10月24日です。